

ホナミとその両親品種の穂型比較



黒実

ホナミ

ビクトリー1号

北海道農試畜産部技官

「ホナミ」の特性

熊谷 健

一 来 歴

本品種は、昭和十七年北海道立農業試験場琴似本場において「黒実」を母とし「ビクトリー1号」を父として交配を行ない以後選抜固定をはかり、昭和二十三年本系六八号と命名され、さらに昭和二十九年より道内関係試験機関に配布して地方適否試験を広く行ない、昭和三十四年十一月とくに優良なる成績が認められ「春播えん麦農林二号」として登録、品種名「ホナミ」と命名されたものである。

二 特性の概要

形態的特性「ビクトリー1号」に比べると稈長はやや短いが穂長が長く穂重型である。幼苗の草型は直立型、葉幅は中、穂は開散する。(第一図) 芒はやや少なく彩色は淡黄白色である。

生態的特性「前進」に比べて出穂期成熟期とも三〜四日遅く晩生品種である。とくに、少肥密植晩播に対する適応性は大きく

第1表 冠状銹病に対する反応

品 種 名	成 熟 感 染 型	成 熟 発 生 率 (%)	期 病 罹 率 (%)	罹 病 感 染 型	苗 途 終 了 率 (%)	期 病 罹 率 (%)
ホナミ	1.0	95	0.7	0.7	40	28
ビクトリー1号	1.0	75	0.7	0.7	20	13
黒実	1.0	100	0.7	0.7	35	24

(註) 昭和27年の成績

飼料価値 第三

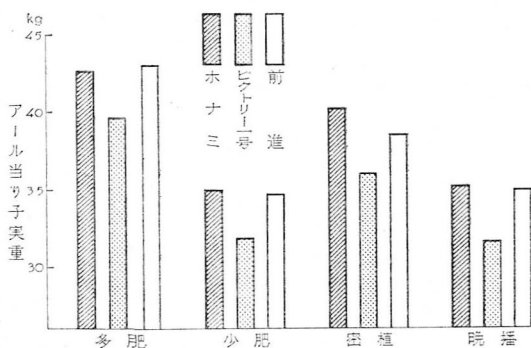
「前進」を上回る。「ビクトリー1号」より耐倒伏性は「ビクトリー1号」より大、冠状銹病抵抗性は「黒実」と同程度でとくに強いとはいえない。(第一、二表、第二図)

表に飼料価値に関する成績をまとめた。本品種は「前進」に比べると粗繊維がやや少

第2表 耐倒伏性

品 種 名	倒伏角度(度)					倒伏割合(%)				
	標準	多肥	密植	晩播	平均	標準	多肥	密植	晩播	平均
ホナミ	0	40	10	20	17.5	0	17	7	7	7.8
ビクトリー1号	40	60	0	10	27.5	40	63	0	18	30.3
前	0	60	0	20	20.0	0	50	0	10	15.0

(註) 倒伏割合は30°以上を示したものの株割合昭和33年の成績



第2図 栽培条件を異にした場合の収量比較

(註) 昭和31~34年の成績

三 子実収量
北海道農業試験場において八カ年

第3表 飼料価値に関する試験成績

品 種 名	年次	水分 (%)	粗蛋白質 (%)	粗脂肪 (%)	可溶性無氮素 (%)	粗纖維 (%)	粗灰 (%)	可消化粗蛋白質 (%)	全可消化養分 (%)	可消化純蛋白質 (%)	澱粉価 (%)	1FEに要する重量 (kg)	1FE中の可消化純蛋白質 (g)	a 当 (kg)		左 標 準 比	
														可消化粗蛋白質	全可消化養分	可消化粗蛋白質	全可消化養分
ホ ナ ミ	昭33	12.1	12.0	3.5	59.7	9.8	2.9	9.30	62.38	8.19	61.20	1.23	100.32	3.7	25.0	105	101
	昭34	11.4	11.5	3.6	59.8	10.9	2.8	8.85	62.10	7.79	60.81	1.23	96.10	3.4	23.9	111	112
ビクトリー1号	昭33	11.2	11.7	4.0	59.2	10.5	3.4	8.98	62.30	7.90	61.00	1.23	97.20	3.6	24.7	100	100
	昭34	11.3	11.7	4.3	58.8	10.6	3.3	8.96	62.57	7.89	61.23	1.22	96.61	3.1	21.4	100	100
前 進	昭33	11.6	12.7	3.4	58.6	11.1	2.6	9.81	62.02	8.63	60.99	1.23	106.18	3.8	23.8	105	96
	昭34	11.3	11.6	3.7	59.8	11.2	2.4	8.87	62.36	7.81	61.06	1.23	95.93	3.2	22.7	106	106

にわたる試験結果をまとめると第四表のとおりである。収量は「ビクトリー1号」に比べて八%増、「前進」に匹敵する。第五表に道内の各試験機関における結果を要約した。これによると本品種は地域適応性はかなり高いことが明らかである。さらに道内十八カ所の現地試験においても本品種の安定した収量性が確認された。

四 青刈 収量

本品種は子実用品種であるが最近日高種畜牧場において行なわれている試験結果をまとめると第四表のとおりである。収量は「ビクトリー1号」に比べて八%増、「前進」に匹敵する。第五表に道内の各試験機関における結果を要約した。これによると本品種は地域適応性はかなり高いことが明らかである。さらに道内十八カ所の現地試験においても本品種の安定した収量性が確認された。

五 適地および栽培利用上の注意

北海道一円に好適し、地域適応性が広い。地方の低いところでもかなりの収量が期待できる。穂重型で穂数が少なく密植適応性が高いので播種量はやや多くした方がよい。銹病発生のはなはだしい地帯、あるいは強度の

第4表 標準栽培における成績

品 種 名	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	m ² 当穂数 (本)	収 量 (kg/a)		子実重対標準比	1重 (g)	千粒重 (g)	稈率 (%)
						子実重	1重				
ホ ナ ミ	7.11	8.17	119.7	24.5	186	46.2	38.2	108	476	38.5	30.2
ビクトリー1号	7.10	8.14	124.0	21.5	200	44.5	35.3	100	494	39.0	27.7
前 進	7. 8	8.13	118.6	23.9	195	40.1	38.0	110	485	43.3	32.8

(註) 昭和27~34年の8ヵ年平均

えん麦品種

第5表 道内試験機関における成績

支場名	品 種 名	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	m ² 当穂数 (本)	子実収量 (kg/a)	左標準比	備 考
ビクトリー1号	7.14	8.20	112.3	21.5	367	33.4	100		
前 進	7.13	8.19	110.8	24.4	213	35.7	107		
黒 実 1 号	7.13	8.21	112.4	24.7	333	38.4	119		
十 勝	ホ ナ ミ	7.16	8.19	114.4	20.0	293	28.1	117	昭和29~33年の5ヵ年平均
	ビクトリー1号	7.15	8.17	117.2	19.5	273	24.3	100	
	前 進	7.12	8.15	114.5	21.5	273	29.7	121	
	栄 進	7.15	8.17	114.5	21.1	273	25.6	104	
北 見	ホ ナ ミ	7.10	8.12	108.0	21.4	340	42.0	109	昭和30~31年および33年の3ヵ年平均
	ビクトリー1号	7. 8	8.11	114.0	19.7	407	38.6	100	
	前 進	7. 7	8.11	104.0	21.6	367	43.7	113	
根 室	ホ ナ ミ	8. 1	8.26	134.1	22.0	260	21.2	150	昭和31~33年の3ヵ年平均
	ビクトリー1号	7.31	8.28	137.3	20.4	253	14.0	100	
	黒 実 1 号	7.30	8.28	129.4	22.6	240	17.6	125	

耐倒伏性を求める場合はさけた方がよい。本品種は晩生種であるので熟期の違う品種と適宜配合すれば収穫期の労力配分に役立つ。生草収量もかなり大であるので青刈用としても用いることができる。

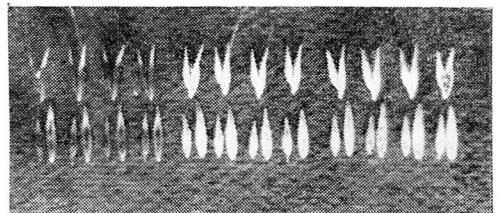
《編集部より》

ホナミは来歴に示されているように、かなり古くより登録された品種であります。近年一部の酪農家の間で非常な評判となつています。これも牧草との混播や青刈、実取り兼用種として好適な特性のためと思われる。

第6表 青刈試験成績

品 種 名	年次	播種日 (月日)	出穂期 (月日)	開花期 (月日)	刈取日 (月日)	草丈 (cm)	m ² 当茎数 (本)	収量 (kg/a)		乾物標準化
								生草	乾物	
ホ ナ ミ	昭35	4.28	7.14	7.17	7.24	114	273	211.6	27.1	114
	昭36	5. 4	7.14	7.16	7.24	128	300	326.5	48.6	150
前 進	昭35	4.28	7.11	7.14	7.20	119	287	145.3	23.7	100
	昭36	5. 4	7.10	7.11	7.19	118	313	211.6	32.4	100

(註) 農林省、日高種畜牧場の成績「前進」は滝川産



黒 実 ホナミ ビクトリー1号